

三角縁二神四獣鏡

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	さんかくぶちにしんしじゅうきょう
所在地	倉敷市
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	径20.6cm。縁を断面三角形に作り、背面に神像と獣形を配し、文様とともに鑄出している。箱の墨書によれば、岡山市北区の吉備津彦神社付近から明和3年(1766)に出土したとされる。中国の魏・晋時代(3世紀)に制作され、その後日本に伝わったと考えられる。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	